

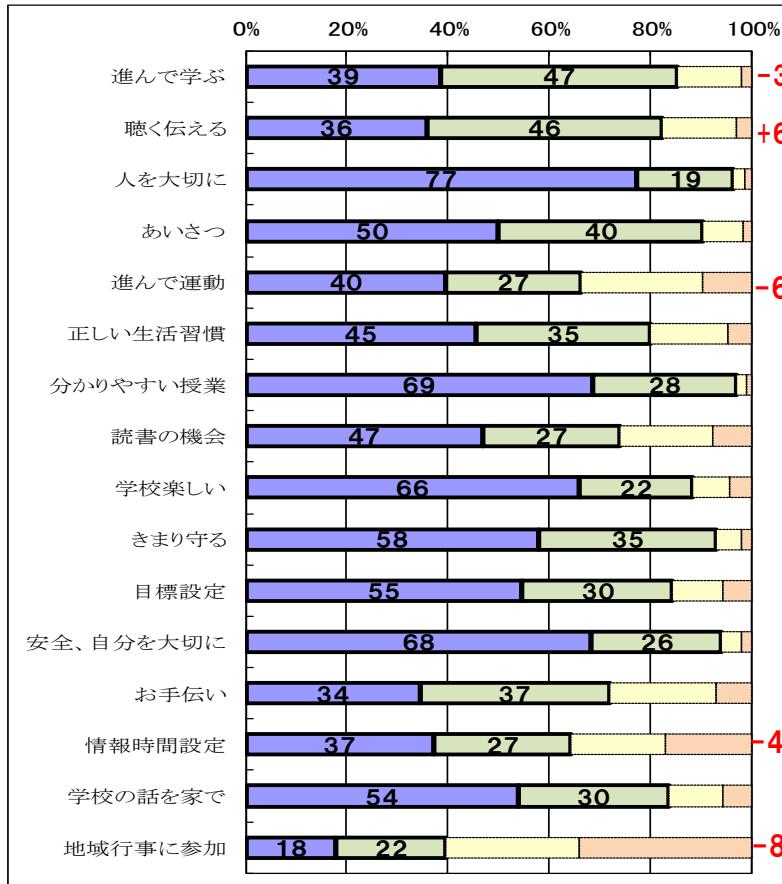


かやみゆま

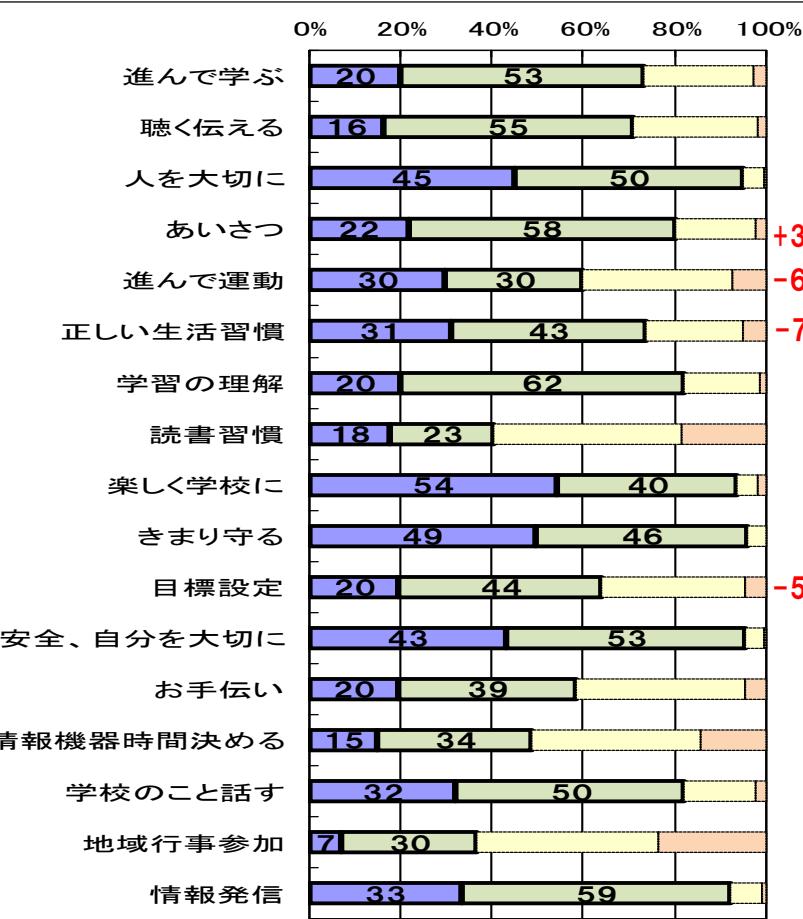
令和3年12月23日
京都市立鏡山小学校
(TEL 581-2183)
(FAX 581-2184)

12月実施 学校評価 結果報告

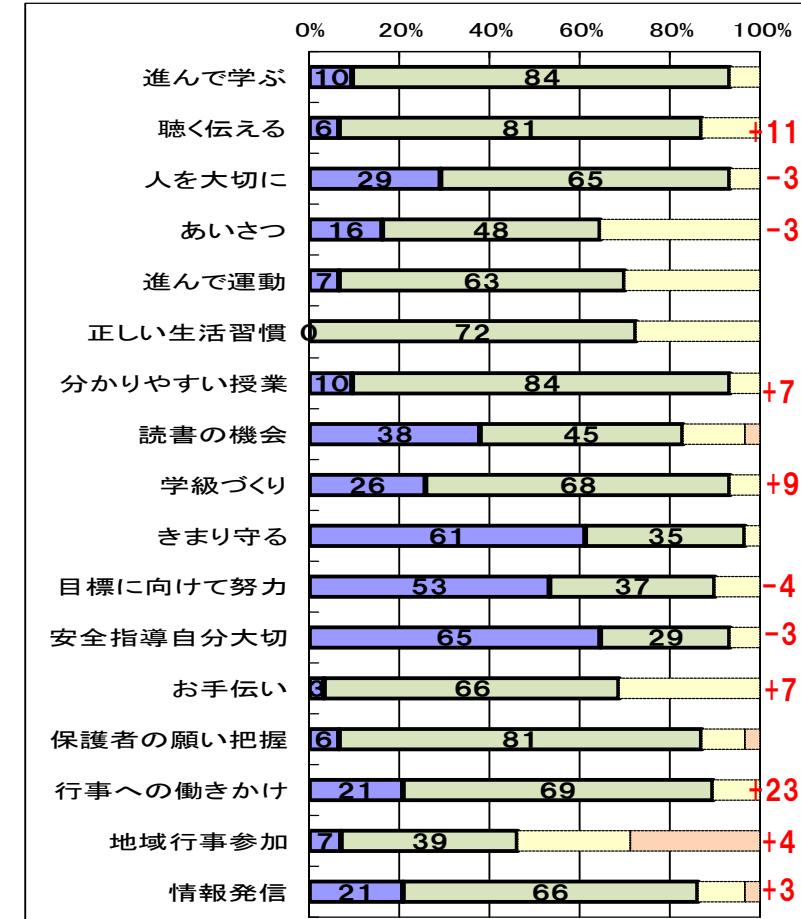
<児童>



<保護者>



<教職員>



アンケート結果より

<全体>



・「きまりを守る」「人や自分を大切に」といった項目の実現度が高い。

▲・「進んで運動」の項目で下降傾向にある。

・「お手伝い」「情報機器の時間を決める」「読書習慣」の実現度が変わらず低い状況が続いている。

<児童>



・「わかりやすい授業」「人を大切に」の実現度が高いだけでなく、前回より上がっている。

▲・「情報機器の時間設定」が低中学年で下がっており、高学年も低いままである。

・「進んで学ぶ」や「学校の話を家でする」が中高学年で下がっている。

<保護者>



・「楽しく学校に通う」「きまりを守る」といった項目のニーズ度が低く、規範意識が概ね育ち、学校にも楽しく通えている。

▲・「読書の習慣」と「情報機器の時間設定」は数値が低い。

<対策>

・「読書」については低中学年は数値が上がっていましたが、高学年は下がっていました。本項目は保護者のニーズ度(重要度と実現度との差)も全17項目中一番高いです。**読書量と学力は比例するとの研究結果もあります**。学校では一人1台のタブレットが入り、情報機器を教育活動の中でも活用することが当たり前になってきていますが、読書の時間もできるだけ確保したいと考えています。ぜひご家庭でも、情報機器だけに頼るのではなく、読書を大切にする習慣が身に付くよう、本や新聞が身近にある環境づくりをしていただけたらと思います。

・「運動習慣のなさ」や「体力の低さ」は本校の課題でしたが、4~6年を対象とした**新体力テスト**の結果を見ると、**今年度は全市平均程度まで上がってきた**。コロナ禍になってしまっても、部活動や体育の授業、休み時間の活動ができる範囲の中でできる限り続けてきました。ただし、休み時間も教室で過ごす子が多く、**運動習慣に二極化**が見られる状況です。学校では「みんな遊び」で教職員も一緒に活動したり、クラス対抗のイベントをしたりして、体を動かす機会を増やそうと工夫しています。地域の公園での遊びも限られていますが、放課後や休みの日にも身体を動かす習慣が身についていくよう、ご協力をお願いします。

<自由記述欄より>

・「学校生活の様子を知りたい」「子どもたちの姿を生で見たい」というご意見をたくさんいただきました。コロナ禍で多くの行事等も制限され、なかなか保護者の方々のご期待に添うことができず申し訳なく思っています。今回いただいたご意見を参考に、学校ホームページで様子を伝えさせていただいたり、情報発信の方法を検討したりしていきたいと思います。

表の見方について

各項目左はし□ …できている(数字は%)

各項目左から2つ目□…だいたいできている(数字は%)

各項目右端数字…7月比で+ - 3%以上のもの